

# 第1学年2組 理科学習指導案

第1学年2組 (第2理科室)

## 1. 単元名

植物のくらしとなかま

## 2. 授業の意図

共通点と相違点に注目してグループを分類し整理していく力は、理科を通して身につけさせたい科学的な見方・考え方の一つである。幅広く、またいろいろなレベルで共通点と相違点を見つけることがこの授業の中心課題になる。じっくり個人で考えるだけでは気づく視点が限定されると思われるので、集団思考によって、自分が気づかなかった情報に気づいたり、新しい考えにつながったりして、対話的な学びとなるようにしたい。

## 3. 本時の目標

- ・マツの花のつくりを被子植物の花のつくりと比較し、共通点と相違点を見いだして整理し、まとめることができる。【科学的な思考・表現】
- ・胚珠があり種子でふえる植物を種子植物といい、被子植物と裸子植物に分かれることがわかる。【知識・理解】

## 4. 本時の流れ

学習活動	場面	指導上の留意点	評価規準・評価方法
めあて：「アブラナのなかまの花」と「マツの花」を比較して、共通点と違う点をそれぞれ3つ以上見つけて説明できる。			
1, めあてを確認する。	課題提示	・グループを調べるときに、共通点と相違点を明らかにする見方・考え方をすることが大切であることを伝える。	
2, 「アブラナのなかまの花」と「マツの花」を比較して、共通点と違う点をそれぞれ3つ以上見つける。	個人思考	・まず個人で考えさせる。 ・見つけにくい生徒には、ヒントとして「名称」「ある・ない」「役割」に注目させるようにする。	・アブラナのなかまの花とマツのなかまの花の共通点と相違点をそれぞれ3つ以上見つけることができている。
3, 情報交換・意見交流をする。	集団思考	・班の中で、自分の考えを発表させる。 ・お互いの意見を聞きながら、自分になかった意見を取り入れたり、新たに思いついたりするように促す。	【思考・表現】ワークシート(C→B) 見つける視点を提示する。意見交換によって、新たな気づきを得る。
4, 「種子植物」「被子植物」「裸子植物」というグループの名前が、表のどの内容からついたものか、確認する。	個人思考 (集団思考)	・分類名とその植物の特徴とを結びつけさせる。 ・班で確認させる。	・「被子植物」「裸子植物」「種子植物」の分類名とそれぞれの植物の特徴が結びつけられる。
5, 活動によって気づいたこと、疑問に思ったことを出し合い、興味を持ったたり調べようとしたりする。	個人思考 (集団思考)	・教師が解答せず、自分で調べたり考えたりするように促す。	【知識・理解】ワークシート
ゴールイメージ：アブラナのなかまとマツのなかまを比較し、違う点からそれぞれが被子植物と裸子植物とに分かれること、共通点から2つのなかまを合わせて種子植物ということが言える。			
6, めあてを振り返り、学習を整理する。			

〈アブラナのなかまの花とマツのなかまの花の共通点と違う点〉

	花の違う点	花の共通点
アブラナのなかま		
マツのなかま		

[メモ:活動によって気づいたこと、新たに疑問に思ったこと]